

3. 調査結果

(1) 事後調査の結果の内容

① 予測した事項（建設機械の稼働に伴う建設作業騒音）

【一般部】

ア. 土工〔舗装版とりこわし〕及び舗装工〔舗装工（敷均し・転圧）〕（調査地点 No. 1）

騒音レベル(L_{A5})の調査結果を表 1-2 に示す。

表 1-2 騒音レベル(L_{A5})調査結果

調査地点：No. 1

調査日：令和元年5月18日（土）

単位：dB

調査時間	測定値	備考
7:00～8:00	69	作業なし
8:00～9:00	69	作業開始前（作業なし）
9:00～10:00	85	切削機、ホイールローダ稼働 （切削幅の関係で2回に分けて切削）
10:00～11:00	84	切削機、ホイールローダ稼働（2回目）
11:00～12:00	77	ホイールローダ稼働 基層舗装、敷き均し・転圧
12:00～13:00	77	基層舗装、敷き均し・転圧
13:00～14:00	76	表層舗装、敷き均し・転圧
14:00～15:00	80	表層舗装、敷き均し・転圧
15:00～16:00	72	表層舗装、敷き均し・転圧
16:00～17:00	66	転圧 作業終了後（作業なし）
17:00～18:00	64	作業なし
18:00～19:00	63	作業なし
作業時の最大値	85	—
作業時の最小値	72	—
勧告基準	80 (85) ※	—

備考：建設機械の稼働状況は、p15 の表 1-4 参照。

■ は最大値を示す。

※：切削機を用いる作業については、「環境確保条例」に基づく「勧告基準」において基準値が定められていないため、参考として、「工作物を解体し、又は破壊する作業」の基準値（85dB 以下）との比較により評価する。

イ. 土工〔舗装版とりこわし〕及び舗装工〔舗装工（敷均し・転圧）〕（調査地点 No. 2）

騒音レベル(L_{A5})の調査結果を表 1-3 に示す。

表 1-3 騒音レベル(L_{A5})調査結果

調査地点：No. 2

調査日：令和元年 6 月 11 日（火）

単位：dB

調査時間	測定値	備考
7:00～8:00	68	作業開始前（作業なし）
8:00～9:00	79	切削機稼働（アイドリング）
9:00～10:00	85	切削機、ホイールローダ稼働 （切削幅の関係で 2 回に分けて切削）
10:00～11:00	85	切削機、ホイールローダ稼働（2 回目）
11:00～12:00	75	ホイールローダ稼働 基層舗装、敷き均し・転圧
12:00～13:00	73	基層舗装、敷き均し・転圧
13:00～14:00	75	表層舗装、敷き均し・転圧
14:00～15:00	80	表層舗装、敷き均し・転圧
15:00～16:00	72	表層舗装、敷き均し・転圧
16:00～17:00	68	転圧 作業終了後（作業なし）
17:00～18:00	66	作業なし
18:00～19:00	64	作業なし
作業時の最大値	85	—
作業時の最小値	72	—
勧告基準	80 (85) ※	—

備考：建設機械の稼働状況は、p15 の表 1-4 参照。

■ は最大値を示す。

※：切削機を用いる作業については、「環境確保条例」に基づく「勧告基準」において基準値が定められていないため、参考として、「工作物を解体し、又は破壊する作業」の基準値（85dB 以下）との比較により評価する。

②予測条件の状況（建設機械の稼働状況）

各工種における建設機械の種類と稼働時間等を表 1-4 及び図 1-3（1）～（2）に示す。

表 1-4 建設機械の種類と稼働状況

工区	工種	作業内容	調査年月日	建設機械	メーカー(略称)	型式	規格	低・超低指定状況	時刻																
									7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19				
一般部	土工	舗装版とりこわし	令和元年 5月18日	①大型路面切削機	Wirtgen	W210	470kW	—			●	●													
				②小型路面切削機	Wirtgen	W35Ri	45kW	—			●	●													
				③ホイールローダ	コマツ	WA40	0.5m ³	低騒音型			●	●													
	舗装工	舗装工(敷均し・転圧)		④アスファルトフィニッシャー	箱多機械	F45W3	2.35～4.50m	低騒音型					●	●	●	●									
				⑤アスファルトフィニッシャー(二層式舗装用)	新潟鐵工所	NMAP60VTM	2.5～4.5m	低騒音型						●	●										
				⑥ダンプトラック	—	—	10 t	—			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				⑦振動ローラ	ポーマグ	BW131AD-2	4t	低騒音型					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				⑧マカダムローラ	住友建機	HM120K-3	12t	低騒音型					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				⑨タイヤローラ	ポーマグ	BM20WTB	16t	低騒音型					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	土工	舗装版とりこわし	令和元年 6月11日	①大型路面切削機	Wirtgen	W210	470kW	—			●	●													
				②小型路面切削機	Wirtgen	W35Ri	45kW	—			●	●													
				③ホイールローダ	コマツ	WA40	0.5m ³	低騒音型			●	●													
	舗装工	舗装工(敷均し・転圧)		④アスファルトフィニッシャー	箱多機械	F45W3	2.35～4.50m	低騒音型					●	●	●	●									
				⑤アスファルトフィニッシャー(二層式舗装用)	新潟鐵工所	NMAP60VTM	2.5～4.5m	低騒音型						●	●										
				⑥ダンプトラック	—	—	10 t	—			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				⑦振動ローラ	ポーマグ	BW131AD-2	4t	低騒音型					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				⑧マカダムローラ	住友建機	HM120K-3	12t	低騒音型					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				⑨タイヤローラ	ポーマグ	BM20WTB	16t	低騒音型					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

③環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表 1-5 及び写真 1-1（1）～（6）に示すとおりである。

なお、本工事の施行中、騒音に係る苦情はなかった。

表 1-5 環境保全のための措置の実施状況

評価書記載事項	実施状況
・工事の施行中は、低騒音工法を積極的に導入する他、建設機械の同時稼働を避ける作業手順・工程とし、騒音の低減を図る。	建設機械は、超低騒音型又は低騒音型を積極的に導入したほか、建設機械の同時稼働を避ける作業手順・工程とし、騒音の低減を図った。 (写真 1-1 (1) ～ (6) 参照)
・道路端(公私境界)や教育施設等に近接する場所で機械が稼働する場合など、必要に応じて工事箇所境界に仮囲い等を設け、騒音の低減を図る。	今回の工事は、暫定供用のため仮舗装していた本線部を本舗装(二層式低騒音舗装)するものであり、本線が既に片側2車線(全4車線)で暫定供用されていたこと、取付け道路、歩道等含めた環境施設帯も既に設置されていたこと等により仮囲い等の設置は困難であったため、可能な限り短時間で作業が完了する施工方法を採用した。